しずおか Topics

編集部が集めてきた
地域の話題をお届けします

地域経済発展の決意新たに！
静岡商工会議所が開所120年記念式典を開催

静岡商工会議所（会頭・750人が参加し、これ後藤康雄さん）は、11月まで の歴史を踏まえ、地27日（火）、静岡市駿河区域経済を発展させようとのクランシップで、開所決意を新たにしました。120年記念式典を開催来賓の静岡県知事の川しました。役議員、会員勝正太さん、静岡市長の企業や行政関係者など約田辺信宏さんのあいさつに続き、役議員や会員企業、優良従業員が表彰されました。

式典の後、静岡商工会議所最高顧問で徳川宗家18代当主の徳川恒孝さんらが、「徳川の平和と文化」と題した記念講演とトークセッションを行いました。

静岡商工会議所開所 120 年記念式典で表彰される優良従業員

「ジョン・レノン追悼ライブ」アトサキ7広場で開催
全国から11バンドが出演

静岡市葵区七間町の旧オリオン座跡地「アトサキ7広場」で、12月8日（土）、「ジョン・レノン追悼ライブイベント七間町Love & Peace」が開催されました（主催／アトサキプロジェクト実行委員会、共催／公益財団法人 静岡市まちづくり公社）。

ライブイベントは、ジョン・レノンの命日にちなんで企画され、インターネットで全国から出演希望バンドを公募。大阪や東京からの応募もあり、最終的に11組が出演しました。

午後1時30分から8時まで行われたライブには、団塊世代から若者、子ども連れの家族など、約300人が集まりました。会場には移動販売車が設けられ、観客は、コーヒーやホットワインで温まりながら、ジョン・レノンやビートルズの曲、バンドのオリジナル曲などを楽しみました。

「ジョン・レノン　追悼ライブイベント　七間町 Love & Peace」のステージで演奏するバンド

携帯サイトで消費生活に関する情報を掲載しています
静岡市消費生活センター
☎054-221-1056（相談専用）
●専門相談員による相談時間●
月～金（祝日、年末年始を除く）午前9時～午後4時
http://shouhi-s.jp/

静岡ライオンズクラブが街頭で献血への協力呼びかけ
108人が献血

静岡ライオンズクラブ（会長・宇式寛記さんが、に呼びかけました。この日は、「葵スクエアの献血10月25日、静岡市葵区の車」「献血ルーム・あおば」葵スクエアで、献血への2カ所で合せて108協力を呼びかけました。人が献血。また、待機者

参加した26人のメンバーは、ティッシュペーパーを配りながら「血液が不足しています。ご協力をお願いします」と通行人などをしながら親の献血を待つ様子もみられました。

この活動は、献血・福祉委員会、献眼・献腎・糖尿病委員会などとの3委員会合同によるもので、毎年2回実施されています。

葵スクエアで、献血を呼び掛ける静岡ライオンズクラブのメンバー

県産食材を積極的に活用する料理人「ふじのくに食の都づくり仕事人」2012表彰式と交流会を開催

静岡県では、県産の食材を積極的に活用し、農林水産業や食文化の振興に貢献している料理人や菓子職人を、「ふじのくに食の都づくり仕事人」としてこれまで263人表彰しています。11月28日（水）に行われた表彰式では新たに64人を表彰。さらに一定期間に優れた活動をした12人を「The year of the仕事人 2012」として表彰しました。

式後の交流会では、仕事人による「しずおか食セレクション」（県独自の基準に基づいて認定した商品）を使った料理や菓子を展示しました。試食もあり、参加者は仕事人と生産者などが連携した取り組みの紹介ブースにも、興味深く立ち寄っていました。

「ふじのくに食の都づくり仕事人」の詳細はホームページに（http://www.shizuoka100.com）。仕事人ガイドブックも発行中です

産経新聞
購読のお申し込みは
0120-34-4646

心のつながりの中にある気づき
“生と死”を描く物語「カミハテ商店」

静岡市出身の映画監督、山本起也さんの最新作「カミハテ商店」が、1月5日（土）から、静岡シネ・ギャラリー（静岡市葵区御幸町）で公開されます。

この作品は、さまざまな人たちの“生と死”を描き、「“死にたい人は…、死ねばいい…”と言い放っていた孤独を抱えた主人公が、見知らぬ訪問者や日常の人々との関わり合いの中で、何かに気づき変わっていく」という形芸術大学の学生が出演ヒューマンドラマ。第47回カルロヴィ・ヴァリ国際映画祭メインコンペティション部門に正式招待された注目作です。

60歳の主人公・森田千代役は、23年ぶりの映画主演となる高橋惠子さん。都会で暮らす弟・良雄役が寺島進さん。

先日、公開に先がけて行われた先行上映のために来静した山本さんに、お話を伺いました。

「この映画は、京都造形芸術大学の学生が出演や制作スタッフとして参加。学生にはいい経験だったと思います。商店のセットづくりに積極的でしたね」

「シーンに欠かせない神々しくみえる断崖絶壁がある、島根県隠岐郡海士町の皆さんとの交流のおかげでできあがりました」。また、“上終（カミハテ）”は、京都造形芸術大学に実際ある地名なのだとか。

山本さんは「日常のささやかな気づきが、今日と明日を変える糸口になるかも。映画を見て、一緒に気づきを体感してください！

山陰の小さな港町、上終で古びた商店を営む千代。断崖絶壁の傍にあるその店で千代が焼いたパンと牛乳を、最後の晩餐（さん）のように買い求めていく人々を彼女は決して止めず、見送った人の靴を崖から持ち帰る日々。また、仕事は思うように行かず心身ともに疲弊する日々を送る良雄（寺島進）は…。

実家に暮らす祖母を追ったドキュメンタリー映画「ツヒノスミカ」が、国内外で高く評価された山本起也さん（左）の劇映画デビュー作となる「カミハテ商店」。出演者の水上竜士さん（右）

【山本さん舞台あいさつ情報】各日ゲストを招いて1月5日（土）から3日間限定開催
☎054（250）0283

結成25周年記念事業
静岡リバティライオンズクラブがダイラボウで薬樹240本を植栽

静岡リバティライオンズクラブ（会長・田形清信さんは、結成25周年記念事業の一環として、10月24日、静岡市葵区富厚里のダイラボウ「薬木園」で植栽を行いました。

参加者は、同クラブ会員・家族26人、静岡県立農業高等学校の教師・生徒27人、静岡市職員・造園業者14人の合計67人。

静岡市中山間地振興課の職員から薬木の種類や薬効」の説明を受けた後、園内に、サンショウ、ニワトコ、コブシなどの苗24種類240本を植栽。

それぞれの木にどんな薬能があるのかを書いた看板を設置しました。

同クラブは、静岡市と「市民による森づくり活動」協定を結び、今後5年間、下草やつるの刈り取りなどの活動を行っていく予定です。

ダイラボウ「薬樹園」での植栽の様子